

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 9日

事業所名:smile

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1 (5.3%)	6 (31.6%)	12 (63.2%)		利用人数に対してのスペースが狭い。お預かりしているお子様の人数及び体の大きさや動きとスペースが合っていない。トイレの数が少ない。外出活動を増やしてスペースの狭さを感じさせない支援を行っていく。
	2 職員の配置数は適切であるか	4 (21.1%)	14 (73.7%)	1 (5.3%)		パート職員を増やして職員の欠動でも利用者様に支障の無いようにしている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10 (52.6%)	7 (36.8%)	2 (10.5%)		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8 (42.1%)	9 (47.4%)	2 (10.5%)	チーム間で毎日の打ち合わせで確認を行っている。 ユニット会議、職員会議等で多くの職員が意見を言いやすいよう配慮している。	ミーティング予定をしても他の会議、他業務と重なり、又、資料準備等が間に合わず時間調整困難で打ち合わせできないことが多い。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8 (42.1%)	8 (42.1%)	1 (5.3%)		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4 (21.1%)	7 (36.8%)	5 (26.3%)		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3 (15.8%)	6 (31.6%)	6 (31.6%)		今後、課題を明確にして行う必要がある。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15 (78.9%)	3 (15.8%)	0		内部研修を月に少なくとも1回行えると良い。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	15 (78.9%)	2 (10.5%)	0		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5 (26.3%)	10 (52.6%)	2 (10.5%)		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	17 (89.5%)	2 (10.5%)	0	特に長期休みは体験として課外活動を行うようにしている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10 (52.6%)	9 (47.4%)	0		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7 (36.8%)	11 (57.9%)	1 (5.3%)		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8 (42.1%)	9 (47.4%)	2 (10.5%)	各チームごとに月2回ユニット会議を行っている。	集団活動をするには困難なお子様もいるため、個別学習すら難しい場面がある。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	18 (94.7%)	1 (5.3%)	0	各チームごとにミーティングを行っている。 朝に全体ミーティング、昼にチーム別会議を行っている。		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8 (42.1%)	8 (42.1%)	3 (15.8%)	退勤時間が異なる為、翌日の打ち合わせで共有を行う。 (パート職員が16:30まで)	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	16 (84.2%)	3 (15.8%)	0	毎日記録の時間を設けて行っている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	17 (89.5%)	2 (10.5%)	0	定期的に保護者面談を行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4 (21.1%)	12 (63.2%)	1 (5.3%)		ガイドラインの周知を研修等で学ぶ機会があると良い。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12 (63.2%)	7 (36.8%)	0	サービス管理責任者、チームリーダー、担当者等が参加する。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	17 (89.5%)	2 (10.5%)	0	随時情報共有している。(主に送迎時に行っている。) サービス担当者会議や学校へ直接話し合いに行く。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5 (26.3%)	11 (57.9%)	1 (5.3%)		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	14 (73.7%)	4 (21.1%)	0	各施設へ訪問して情報共有を行うことで同意を得てから行う。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	10 (52.6%)	8 (42.1%)	0	卒業後も同法人の生活介護等を利用することも多く、スムーズに報告できている。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3 (15.8%)	10 (52.6%)	4 (21.1%)		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4 (21.1%)	8 (42.1%)	7 (36.8%)	当法人の放課後児童クラブや近隣の放課後児童クラブのイベントに参加する。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1 (5.3%)	11 (57.9%)	5 (26.3%)		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	16 (84.2%)	2 (10.5%)	0	連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2 (10.5%)	6 (31.6%)	9 (47.4%)	強度行動障害についてのアドバイス等は行っている。	ペアレントトレーニングの指導者が不足している。	
保護	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11 (57.9%)	5 (26.3%)	0	契約時に詳しく説明している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14 (73.7%)	4 (21.1%)	0	主に施設長を中心に要望があればいつでも行っている。平日午前中を中心に行っている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9 (47.4%)	4 (21.1%)	3 (15.8%)	年に一回、保護者会を実施している。定期的に親子レクリエーションを計画して他の保護者との交流を設ける。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14 (73.7%)	2 (10.5%)	0	クレームに対しては迅速に報告・対応して職員会議の項目の中で報告して共通理解を行う。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4 (21.1%)	9 (47.4%)	4 (21.1%)		年に一度だけでは不足なので次年度より発行の回数を増やすようにする。
	35	個人情報に十分注意しているか	18 (94.7%)	1 (5.3%)	0	書類全てに対し外部への持ち出し禁止としている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	17 (89.5%)	1 (5.3%)	0	送迎時の申し送りと利用日付は連絡帳を活用する。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7 (36.8%)	5 (26.3%)	5 (26.3%)	「感謝祭」として参加し地域との交流を図る。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12 (63.2%)	6 (31.6%)	1 (5.3%)		まだ不十分である。 職員に対しては周知しているが保護者に対しては説明不足である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13 (68.4%)	4 (21.1%)	1 (5.3%)	年2回、訓練を行っている。	火災の他、水害や地震等に対応する訓練も必要。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	18 (94.7%)	1 (5.3%)	0	過去に外部講師をお招きして虐待防止の出前講座を実施している。 外部からの研修(年1回)と同事業所内での研修(3か月に1回)を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	18 (94.7%)	1 (5.3%)	0	身体拘束について月1回モニタリング等の会議を行っている。保護者様に身体拘束の同意書もらっている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10 (52.6%)	6 (31.6%)	2 (10.5%)	一覧表を作成して表示しておやつ・給食時の準備に十分気を付けている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	18 (94.7%)	1 (5.3%)	0	毎日の打ち合わせで報告しており、各チーム、職員全体には毎週会議にて報告する。		